

令和2年度 事業報告

学校法人 悠久崇徳学園

長岡崇徳大学

長岡看護福祉専門学校

上越看護専門学校

学校法人悠久崇徳学園

1 法人の概要

(1) 法人の沿革

平成 4年4月	長岡福祉専門学院 開校
平成 7年4月	長岡福祉専門学院を長岡看護福祉専門学校と校名変更 看護学科新設
平成 9年2月	レクリエーション・インストラクター養成課程認定
平成11年2月	福祉レクリエーション・ワーカー養成課程認定
平成17年4月	長岡看護福祉専門学校の設置者を学校法人崇徳医療福祉学園 に変更
平成20年4月	上越看護専門学校 開校
平成22年4月	法人名を学校法人 悠久崇徳学園と改称
平成26年7月	悠久崇徳学園から学校法人長岡総合学園分離認可 施行
平成30年8月	長岡崇徳大学 設置認可
平成31年4月	長岡崇徳大学 開学
令和 2年4月	長岡看護福祉専門学校介護福祉学科留学生受入（4名）
令和 3年3月	長岡看護福祉専門学校看護学科閉科
令和 3年4月	長岡崇徳福祉専門学校に校名変更（看護科閉科に伴い）

(2) 設置している学校

学校名	学部・学科名	修業年限	入学定員	収容定員
長岡崇徳大学	看護学部 看護学科	4年	80名	320名
長岡看護福祉専門学校	介護福祉学科	2年	30名	60名
	看護学科	3年	30名	90名
上越看護専門学校	看護学科	3年	40名	120名

(3) 各学校の定員充足率

	長岡崇徳大学			長岡崇徳福祉専門学校			上越看護専門学校		
	定員	学生数	充足率	定員	学生数	充足率	定員	学生数	充足率
令和3年度	80	74	92.5%	30	18	60.0%	40	35	87.5%
令和2年度	80	56	70.0%	30	10	33.3%	40	34	85.0%
令和元年度	80	40	50.0%	30	7	23.3%	40	36	90.0%
計	240	170	70.8%	90	35	38.9%	120	105	87.5%

(4) 役員概要

定員数 理事 8人以上 10人以内

監事 2名

令和3年3月31日 現在

(任期：令和2年5月30日から令和4年5月29日)

役員の区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事	田宮 崇	非常勤	平成22年4月1日就任
常務理事	内山 聖	常勤	令和2年5月30日日就任
常務理事	森 啓	常勤(学長)	平成28年5月30日就任
理事	巻 淵 隆 夫	非常勤(学校長)	平成30年5月30日就任
理事	小坂 拓	非常勤	平成29年10月11日就任
理事	田宮 由紀子	非常勤	平成29年7月25日就任
理事	的場 已知子	非常勤	平成30年5月30日就任
理事	廣川 敢	非常勤	平成23年9月22日就任
監事	河上 恭雄	非常勤	平成30年5月30日就任
監事	五十嵐 芳人	非常勤	令和元年9月1日日就任

(5) 評議員概要

定員数 17名以上 21名以内

令和3年3月31日 現在

(任期：令和2年5月30日から令和4年5月29日)

役員の区分	氏名	当法人の役職	摘要
評議員	田宮 崇	理事	平成22年4月1日就任
評議員	森 啓	理事	平成28年5月30日就任
評議員	巻 淵 隆 夫	理事	平成23年5月23日就任
評議員	田宮 由紀子	理事	平成29年7月25日就任
評議員	廣川 敢	理事	平成23年9月22日就任
評議員	的場 已知子	理事	平成26年7月1日就任
評議員	小坂 拓	理事	平成29年10月11日就任
評議員	内山 聖	理事	平成29年10月11日就任
評議員	佐武 明		平成22年4月1日就任
評議員	江口 郁子	学校長	令和元年9月1日日就任
評議員	田中 憲一		平成22年4月1日就任
評議員	京極 高宣		平成30年8月20日就任

評議員	井上 恵		平成30年5月30日就任
評議員	中村悦子	看護学部長	平成30年8月20日就任
評議員	横山侑馬	長岡看護福祉専門学校同窓会会長	平成27年4月1日就任
評議員	齋藤 智		令和元年9月1日就任
評議員	小見 誠	事務局長	令和2年5月30日就任

(6) 教職員の概要

(単位：人)

	区分	本部	長岡崇徳大学	長岡看護福祉専門学校	上越看護専門学校	計
教員	本務	—	28	10	10	48
	兼務	—	147	266	254	667
職員	本務	4	12	5	5	26
	兼務	2	1	0	0	3

令和2年3月31日 現在

2 悠久崇徳学園 事業の概要

学校法人悠久崇徳学園は社会的ニーズの高く、就職にも強い看護師、介護福祉士の国家資格を取得することができる学園として1992年に設立、29年が経過。

長岡崇徳大学看護学部、長岡看護福祉専門学校、上越看護専門学校の三校一学部三学科の設置運営を行ってきましたが2021年3月、長岡看護福祉専門学校看護学科を閉科。

1995年、長岡福祉専門学院に看護学科を併設し、長岡看護福祉専門学校に改名し、実に四半世紀に及ぶ歴史の中で地域の要請もあり895名の看護師を養成した。

本学科の特徴は、看護の場で出会うあらゆる対象者の理解を深め、個々の人権を尊重した人間関係の中から、豊かな感性をはぐくみ広い視野を持って、看護実践のできる看護専門職業人の育成を教育の基本理念とした。

また、生命の尊厳と人類愛を基盤とした思考、判断、行動ができる能力を養うとともに、保健・医療・福祉のチームの一員として看護の役割を認識し、その責任を果たす能力を身につけた看護師育成を目指した。

思いやりを大切に、豊かな人間性を養い、社会に出て、人々の健康と福祉に直ぐに役立つ人材を養成することを教育の最大の目標とした。

この精神は一昨年、悠久崇徳学園長岡崇徳大学看護学部開設に伴い、地域をつなぐ「看護力」を育むとして永遠に受け継がれることとなった。

この1年、コロナ過でいろんな制約にも打ち勝ち、しっかりと成長した学生たち、学園を信頼してくださる保護者の皆様、そして学生たちに看護専門力をつけようと努力する職員に感謝したい。

長岡看護福祉専門学校看護学科の教育実践は、この三者が一体となって押し進めることができる学校だからこそ、可能となった。

令和2年度の目標は、運営する3校の入学生確保による財政基盤の強化を掲げ、本部に広報部、国際企画部を新設し、各学校との連携もあり、学園全体で学生確保に尽力した。

その結果、2年目を迎えた長岡崇徳大学看護学部（定員80名）は2学年合わせ、充足率60%となった。長岡看護福祉専門学校（介護科 定員30名）は留学生4名の受入れを開始し、充足率28.3%と若干回復したが、看護科の廃止もあり今後も厳しい学園運営は続く結果となった。

上越看護専門学校（定員40名）については、県立十日町看護専門学校の影響を受けたが、ほぼ横ばいの87.5%の充足率を確保した。

今後は、学生、保護者はもちろんのこと地域からも魅力ある学園として柔軟な発想と想像力を発揮させ、学園全体で一体感を持った広報活動を展開することが重要となった。

さらに、建学の精神を再認識し、継承すべきミッションを実現していくビジョンを実現する目標・戦略・計画の必要性を認識し悠久崇徳学園「中長期計画」を策定した。

令和2年度は以下に掲げる重点項目を中心に活動を実施。

(1) 法人組織運営体制の強化推進

法人組織運営体制の強化として定例の諮問会議を組織化し、法人喫緊の課題や収支状況等の情報共有化を図り、運営管理を実施。

(2) 内部統制の整備・充実

内部監査規程に基づき監事、公認会計士および内部監査室の連携により、有効かつ効率的な監査の実現と将来に向けた学園収支の提案を実施。

(3) 各種法律及び制度改革対応

国が進める「働き方改革」の流れと学園の実情と問題点を的確に把握し、年次有給休暇取得の時期指定及び学園のコンプライアンス確保のため裁定規程の導入。

人事考課制度については中長期計画に基づき2年計画で実施。

(4) 崇徳厚生事業団との更なる連携実施

(学園設備改修、学園周辺の環境整備実施留学生確保、奨学金制度確立等)

(5) 学園財政基盤確立に向けた将来収支の提案実施（完成年度までの収支予想）

3 長岡崇徳大学

※資料1-2 記載

4 長岡看護福祉専門学校

※資料1-3 記載

5 上越看護専門学校

※資料1-4 記載